



もろきた通信

佐賀市立諸富北小学校

学校だより No.12

令和元年11月22日(金)

校長 築波 真史

学校教育目標

<自ら学び、心豊かにたくましく生きる児童の育成>

2学期も残すところあと1ヶ月となりました

気が付けば11月も後半、2学期も最後の1ヶ月となりました。日中はぽかぽかと好天の日も多いのですが、朝夕は寒さを感じる日も増えてきました。先日ニュースを見ていますと、雨が少ないので空気が乾燥していて、インフルエンザが流行しやすい季節に入ってきたとのことでした。本校ではまだ流行の兆しはありませんが、市内では既に学級閉鎖になっている学校も増えてきています。朝の登校時の服装を見てみると、しっかりと防寒対策をして送り出しているご家庭も多いのですが、まだ半そでで登校している子どももいます。たくましいとも思いますが、体力が落ちると一気に体調を崩すこともあります。私も先日インフルエンザの予防接種を受けてきましたが、どうぞ子どもさんの体調管理にも十分に気をつけていただければと思います。また、21日(木)の朝は大変冷え込みましたが、登校時に手袋を着用している子どもは全体の2~3割程度でした。この週末を利用して、ぜひ手袋の準備をお願いいたします。登下校だけでなく授業や休み時間の外あそびなどでも着用させたいと考えています。



2学期に入り、あいさつについてはよくできてきたと思っておりましたが、毎朝通学路で登校指導をしていただいている見守り隊の方とお話したときに、まだまだ学校外でのあいさつが十分ではないことがわかりました。私やあいさつ運動の子どもたちがいる校門では元気にあいさつができていますが、他の場所ではまだ十分ではないようです。そこで先月、あいさつを考える集会を開き、「いつでも どこでも だれにでも」「さきに えがおで げんきよく」を合言葉にあいさつを頑張ろうと確認しました。するとその後、朝のあいさつがだんだん自分から丁寧にできるようになってきた子が増えてきました。声だけでなく、校門の前で立ち止まって頭を下げながらあいさつができています。また、地域の方へのあいさつもよくなってきたとの話も聞きました。とてもうれしく思います。各ご家庭でも「おはよう」「いってきます」「ただいま」「おやすみなさい」「いただきます」「ごちそうさま」など日常のあいさつをきちんとと言えるように、大人の方から先にあいさつをさせていただくと、子どもさんにも伝わっていくと思います。

人権教室で難病や障害について理解を深めるライブが行われました

11月6日(水)の人権教室は、小6のときに「周期性四肢麻痺」という難病を発症し、毎日周期的にやってくる手足の麻痺や脱力感に襲われている、シンガーソングライターの内田百玲(うちだもれい)さんが本校に来てくださり、ライブが行われました。一見まったく病気には見えず、「楽をしている」「ずる休み」などとひどい言葉を浴びせられた日々を経て、自分の気持ちを表現する手段として音楽を選び、さまざまな場所で講演活動を行うことで同じような難病や障害に苦しんでいる方々の気持ちを伝えておられます。



子どもたちは内田さんの話や歌を驚くほど真剣に、静かに聞いており、終わった後の感想からも子どもたちなりに内田さんの苦しみや勇気を感じ取った様子がうかがえました。子どもたちにもパンフレットを持たせましたが、内田さんは12月15日（日）に佐賀市柳町の浪漫座でライブを開かれます。

諸富町文化祭、本校からも出演しました

11月16日（土）～17日（日）は諸富町文化祭が行われ、本校からも展示やステージ発表に子どもたちが参加しました。展示では「伝統文化いけばな・もろども子供教室」に本校の1年生から5年生までの子どもたち12名も参加しており、その作品が展示されていました。

17日に行われたステージ発表では、2年生の子どもたちの出し物と6年生代表が「青少年の主張」に出演しました。2年生は学習発表会でも行った「いろんな音とあめ」の群読と「青い空に絵をかこう」「そらにぐうんと手をのばせ」の合唱を披露しました。一人一人が一生懸命大きな声で群読や合唱に参加している様子がよく分かりました。

また、6年生代表の新郷さんは「地球があぶないーぼくたちができることー」という題で、この地球の環境問題、特に地球温暖化や電力の使用量などについて、「小学生でもこんなに真剣に考えているんだ」と思えるくらいすばらしい発表を行ってくれました。聞いている人が分かりやすいように、写真やグラフをパネルにして説明しながらでしたので、とても聞く人に訴える発表だったと思います。このようにたくさんの人の前で発表する機会は緊張もしますが、自信にもつながります。できればたくさんの子どもにこのような経験をする機会があればと思っています。



楽しみながら考える力が身に付く「脳トレ」に取り組んでいます

本校はこれまでの授業の様子や学習状況調査などの結果から、特に「読解力」に焦点をあてた学習指導に力を入れています。子どもたちに教科書や資料、テストなどの文章から、書かれている内容を理解するという基礎的・基本的な力をしっかり定着させたいと考えています。そこで、授業以外にも考える力、読解力を育む取り組みのひとつとして、10月から「脳トレ」に取り組んでいます。毎週火曜と金曜の2回、回収・採点を行っており、毎回問題を解いて合格したら週に2枚ずつ上のレベルの問題に挑戦できる仕組みです。

子どもたちの自主的な参加を呼びかけていて、また1年生から6年生までが同じ問題に取り組んでいるので無理強いはず、時々声をかける程度で取り組みを進めています。11月19日（火）はちょうど10枚目（レベル10）に合格した児童が2年生と6年生に1人ずついました。また、今日はついに1年生にもレベル10をクリアした子どもがいました。

しかし、最初の1枚は全児童に配布したのですが、なかなか取り組みが進んでいない子どもも多いようです。全校でスタートした「脳トレ」ですので、子どもさんの取り組みの状況について話題にいただければと思います。

問題 4 字解を好きな人はだれ？

① たくくんはだいきくんの右となり
 ② 読解を好きな人はゆうじくん
 ③ だいきくんはスパゲティを食べたい人のとなり
 ④ 読解を好きな人は読解を好きな人のとなり
 ⑤ ハンバーグを食べたい人は左にいる
 ⑥ コロッケを食べたい人は真ん中にいる

4	ひかり 左	真ん中	さき 右
名前			
好きなこいのぼり			
食べたい給食			

年 さまえ

「脳トレ」の問題例